

授業科目	老年看護学援助論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	実務経験
		2年次	1	30		佐藤舞菜見	有
授業概要	高齢者の特徴をふまえ、健康障害に応じた看護が理解できる。 1. 生活機能を整える看護を学ぶ。 2. 主要状態にある高齢者への看護を学ぶ。 3. 高齢者の終末期看護を学ぶ。						
回数	授業計画・授業内容						授業方法
1 (2 3 4 5 (6 7 8 9 10 11・12 13 14 15	I. 生活機能を整える看護 1. 日常生活を支える基本動作と看護ケア 1) 日常生活活動の評価 2) 転倒アセスメントと看護ケア 3) 廃用症候群のアセスメントと看護ケア 2. コミュニケーションと看護ケア 老人性難聴、失語症、構音障害 3. 食事・食生活 1) 高齢者に特徴的な変調 (脳血管障害・認知症) 2) 加齢に伴う摂食嚥下機能の変化 摂食・嚥下過程の5期モデル、誤嚥 3) 摂食嚥下能力のアセスメント 覚醒・意識状態・ 認知機能 4) 摂食嚥下リハビリテーション 5) たんぱく質・エネルギー低栄養状態 (PEM) 4. 排泄 1) 排尿障害 過活動膀胱 頻尿 尿失禁 2) 排便障害 便秘 下痢 便失禁 排泄行動 排泄リズム 自助具の活用 5. 清潔 乾燥とかゆみ 入浴による生体への影響 6. 生体リズム 睡眠と覚醒 サーカディアンリズム 睡眠障害 影響する要因のアセスメント II. 認知機能の障害と終末期の看護 7. 認知機能の障害に対する看護ケア 1) 高齢者のうつ 2) せん妄 3) 認知症 定義、基本構造、診断、治療、予防、評価、看護ケアの実際 8. エンドオブライフケア 1) 高齢者の死 2) 身体徴候の観察と予測的な援助 3) 合意形成 アドバンスディレクティブ、リビングウィル 4) 家族への援助 試験						講義
テキスト	老年看護学／医学書院 その他参考資料						
評価方法	筆記試験						
先修条件	基礎看護学9科目・老年看護学概論Ⅰの履修						